



上越市地域おこし協力隊・活動報告

柿崎区 水野・下牧・平沢集落

筒井 惇貴

活動の概要

- 活動地域
柿崎区 水野・下牧・平沢 集落
- 活動期間
令和2年7月1日～令和5年6月31日
- 活動内容(ミッション)

① 農業振興

中山間地域における農業技術習得、農地の維持管理。

② 特産品の開発、販路拡大

集落で作る、そば・もちの生産技術習得、と販路拡大支援。

③ 地域振興

地域行事への参加や高齢者世帯の除雪作業など。

地域に新たな移住者を呼び込む活動。





活動①稲作・そば栽培の技術の習得

田植え



稲刈り



蕎麦狩り



3年間、3集落で、稲作を中心に農業に関するお仕事に携わらせて頂きました。熟練農家さんのお手伝いをさせて頂く中で、技術や知恵を教わってきました。中山間地域の農業とその価値を学ぶ中で、自分自身がやりたい農業はどんなものか、深く考えることのできた3年間となりました。

退任後は、本格的な独立営農の研修を受け、地域の担い手になれるように精進していきます。今後、さらに離農者が増える中で、素晴らしい田園風景を後世に残していけるように尽力して、持続可能な農村地域を目指していきたいと考えています。

活動②特産品の技術継承



笹だんご



蕎麦



蕎麦

春から秋までは、笹だんごを作り、冬は蕎麦と餅を作ります。

地域の皆様から、作業一つ一つを丁寧に教わった技術を、次の世代につないでいけるように自身の技術に磨きをかけていきます。

今年の夏は、地元小学生の総合授業として、笹だんご作りを教えたいと考えています。将来は、自身の看板をもって、蕎麦の販路拡大を目指していこうと模索中です。



活動③地域探求授業

- ・ 近隣の小学校、中学校、高校それぞれの授業に参加して、中山間地域の魅力と課題を伝える活動も行いました

大湊町小学校稲刈り体験



下黒川小学校農業体験



久比岐高校・活動地域見学



小学生には農業体験、中学生には地元良さを考えてもらい、高校生には地域おこし協力隊の暮らしぶりや仕事を体験してもらいました。地域に関わる授業が、子供たちの感性を磨ききっかけになってくれればと思い、授業に臨みました。地域おこし協力隊を退任した後も、学校との関わりは深めていきたいと考えています。

活動④移住者の呼び込み活動

自然に抱かれた、米山の玄関口
水野・下牧

移住希望者、新規就農希望者必見
1泊2日・里山暮らし体験！
(日帰りプランもご用意できます。)

ツアー参加特典

- ・交通費補助 (新幹線代、高速代含む)
- ・美味しい日本酒飲み放題
- ・農家の朝食！
- ・棚田米プレゼント

13:00 峠崎駅集合
13:30 峠崎区内見学
14:00 水野・下牧 無農具芋
16:30 田舎体験ハウス チェックイン
18:00 夕食

憧れの田舎暮らしへ、第一歩。
得た仲間たちと、山と海を回り、新しい生活を描こう！
望み家はもちろん、農家を始めたい方へのサポート体制は先輩農家さんが案内してくれます。

里山暮らしは、意外と便利！
暮らしぶりを、移住に向けた準備など、気になることは、地元住民、先輩移住者が何でもお答えします。
地元スーパーの食材は、絶品ですよ！

集落に入れば、棚田越しに日本海が一望できます！
山から海までは車で約15分！
季節ごとに変わる、自然の景色が日々の生活を彩ります。

こだわりの古民家「カールベクスハウス」見学！
古民家再生で評価の高い、ドイツ人建築家カールベクスが手がけた、若々しい古民家。山と海を望みながら、最新のロケーションで、散歩も楽しめる。こだわりの古民家で、憧れのスローライフを始めませんか？

風情の残る幼稚園を改装した「田舎体験ハウス」
夜は静寂、朝は朝霧と山と日本海のパノラマを望むことができます。
日本海に沈む、夕日は絶景です！

美味しい食事をどうぞ！
地元の食材と交流しながら、山間ならではの食材をお楽しみください。
自然の恵みは一度食べたら、忘れられないですよ！

※移動の際は、季節に応じた服装をお願いします。
※地域の状況により、ご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。
SNSでも生活の様子を配信しています！

柿崎を食べる会
住所：〒959-5234 新潟県上越市柿崎区高寺310-1
電話 025-520-6003 E-mail kakizakiwotaberukai@live.jp
お申込み方法 電話、E-mail、SNSのメッセージからお申込みください。



下牧町内会長と協力して、移住希望者向けの集落ツアーを企画。みんなで、竹を切って運んで、流しそうめんをするなど、集落での暮らしぶりを楽しんでもらいました。

古民家改修で
移住者を呼び込む！
小さな集落の挑戦

「田舎暮らしの本」の取材を受けるなど、再生古民家への移住者も積極的に呼び込んでます。

下牧・カールベクスハウス
<https://kb-house.com/>

活動⑤冬の仕事確立へ 〈半農半X 酒蔵研修〉



水野集落の農家さん(蔵人)に紹介して頂き、令和4年11月～3月の間、(資)竹田酒造店で研修させて頂きました。

退任後の仕事を見据えて、蔵人と皆様と同じ仕事をさせて頂く、修行の日々。

覚えることも多く大変でしたが、美味しいお酒がどのように造られるのか、学ぶたびに、日本酒への興味が深まりました。活動集落で育てたお米を使って仕込むお酒もあり、農業とのつながりを感じることもできました。

また冬の中山間地域での生活と仕事の両立を試すことができ、定住に向けて、準備が整い始めたと感じています。

働きに出ると、どうしても集落との関わりが薄れてしまう実感があったので、今後は両立して冬のイベントや蕎麦作りを次世代に残していけるよう、尽力していきます。



地域での生活ぶり

- ・自然と向き合いながらの生活。
- ・イベントや集落行事にも参加します！



地域資源と食文化



山には沢山の資源と御馳走があります。
地域の皆様にレシピを教わり、郷土料理の継承にも励みました！

3年間を振り返って

- 農繁期は、田んぼ作業が中心。仕事の段取りを理解してきたことで、集落の皆様から頼りして頂くことが多くなりました。一方で、農業の厳しさも痛感しました。退任後は、農業者として、中山間地域を支えていきます。
- 下牧集落を中心に、移住者の呼び込み活動にも力を入れてきました。カールベックスハウスをきっかけに、下牧集落に1家族、水野集落に2家族、移住してきてくれました。今後も担当集落に移住者を呼び込む活動は続けていきます。
- 近隣の学校の授業に携わらせて頂くことも多く、3年目には、個人的にも学校から授業の依頼を頂けるようになりました。担当地域外の学校とのイベントも増え、3年間で集落の賑わいが増してきました。恒例の授業として、続けていけるように尽力していきます。
- 中山間地域での生活は決して、楽のものではなく、都市部と比べると生活は安定しません。それでも、豊かな自然と資源に価値を感じ、移住してきました。3年たった今も、移住してきた当時と思いは変わりません。退任後も、生きがいに溢れた生活を楽しみ、その様子を発信して、賑わいのある地域づくりに、生涯に渡って貢献したいと考えています。

退任後の見通し

- 次世代農業人材投資資金(準備型)を使い、農業研修を開始します。
- 耕作予定がない小さな田んぼを自分のできる範囲で受け持ち、田園風景を守りながら、生活を安定させる営農を目指します。
- 新移住者の皆さまとコミュニケーションをとり、先輩移住者として生活のサポート。
- 2軒目のカールベックスハウス建設の協力と、入居者の呼び込み活動。
- 首都圏でのコネクションを活かして、棚田米をはじめとした、地域とゆかりのある特産品の販路拡大。



これからも、持続可能な農村地域を目指し、
地域おこしの活動を続けていきます！
ご清聴ありがとうございました。

